

令和4年度地域運動部活動推進事業

休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	舞鶴市教育委員会 担当課：学校教育課 0773-66-1031
------	------------------------------------

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

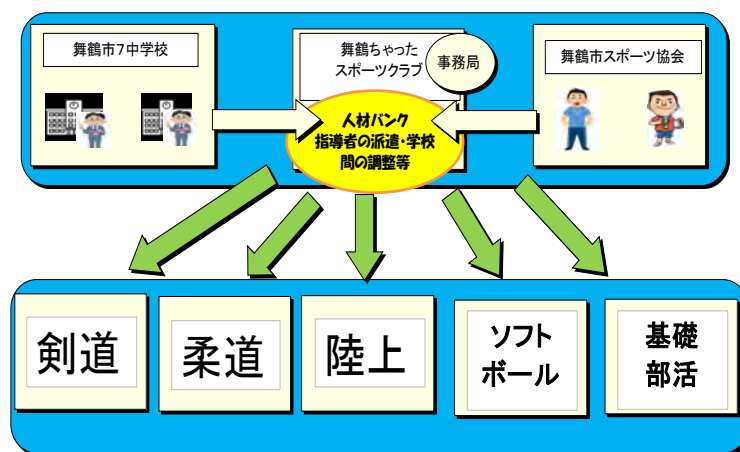
① 中学校数	7校	② 生徒数	2,052人	③ 部活動数	66部活
--------	----	-------	--------	--------	------

1.2 地域における現状・課題

- ・生徒・保護者にとって望ましい地域部活動と、教員の負担軽減
- ・舞鶴市7中学校66部活動に在籍している生徒の受け皿確保のために、基盤作り運営体制作りが必要
- ・学校部活動の地域移行について、教職員や生徒・保護者、スポーツ協会傘下の連盟やスポーツ少年団等への周知

1.3 実践研究における取組目標

- ・中学生にとって満足度の高い地域部活動を実施
- ・中学校教員の部活動に従事する負担感を軽減
- ・休日に受け皿となる地域部活動の充実
- ・教員や地域人材に対しての十分な周知活動



1.4 実践研究の運営体制

本市の中学校教職員が舞鶴市スポーツ協会に関係する指導者が、総合型地域スポーツクラブの人材バンクに登録し、剣道・柔道・陸上・ソフトボール・基礎部活の活動に指導者を派遣する体制を構築した。

2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

- ・令和3年度には舞鶴市スポーツ協会の会長や校長会長等と合同会議を実施した。令和4年度にはさらにスポーツ少年団や中体連会長にも参加していただき、年5回の会議を開催した。会議では実施体制について議論する中で、受益者負担の難しさや連絡体制の周知など話し合われた。
- ・舞鶴市スポーツ協会の理事会に参加し、スポーツ振興課と教育委員会とが地域移行について説明し、普及啓発活動を行った。

3. 実践研究校における取組について

3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	域内全7中学校のうち、7校が実践研究に参加
② 実践研究に取り組んだ部活動数	5部活（1部活は学校部活動にない種目）
③ 種目	剣道、柔道、陸上、ソフトボール、基礎部活（ゆる部活とトレーナー部活）

《主な取組例（1）》…舞鶴市立青葉中学校

① 運営主体	舞鶴市教育委員会/総合型地域スポーツクラブ（舞鶴ちゃったスポーツクラブ）		
② 種目	剣道	③ 参加者数	19人
④ 活動日	日曜日	⑤ 活動場所	舞鶴市文化公園体育館剣道場/市内中学校体育館
⑥ 指導者人数	13人	⑦ 謝金単価	1人あたり1,600円/時間
⑧ 指導者属性	総合型地域スポーツクラブ人材バンク登録者と剣道連盟等のボランティア参加		
⑨ 参加会費の有無・金額	徴収なし		

《主な取組例（２）》…舞鶴市立白糸中学校

① 運営主体	舞鶴市教育委員会/総合型地域スポーツクラブ（舞鶴ちゃったスポーツクラブ）		
② 種目	柔道	③ 参加者数	15人
④ 活動日	土曜日	⑤ 活動場所	舞鶴市文化公園体育館柔道場/市内中学校武道場
⑥ 指導者人数	4人	⑦ 謝金単価	1人あたり1,600円/時間
⑧ 指導者属性	総合型地域スポーツクラブ人材バンク登録者と剣道連盟等のボランティア参加		
⑨ 参加会費の有無・金額	徴収なし		

※剣道（青葉中・白糸中・城南中・城北中）、柔道（青葉中・白糸中・城南中・城北中）、ソフトボール（白糸中・和田中・城南中・城北中）、陸上（青葉中・白糸中・和田中・城南中・城北中・若浦中）

3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者等）

（生徒の声）

- ・「たくさんの先生に教えてもらえて嬉しい」「他校の生徒と一緒に練習できるのが嬉しい」

（保護者の声）

- ・「専門的に教えてもらえるのは嬉しい」「練習場所までの送迎が大変」

（教師）

- ・「地域部活動に任せてしまうと、生徒や保護者からの信頼を損なうのではないかと結局参加している」

（指導者）

- ・「指導にやりがいを感じている」「種目の活性化につながっており、大変嬉しい」

3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

- ・【活動場所までの送迎が大変】…活動場所を東舞鶴と西舞鶴とに移動させながら実施したが、従前の部活動に比べれば移動に関する負担は増えた。
- ・【指導者への謝金】…これまで地域の活動はボランティアがほとんどであったため、今回指導に対して謝金が支払われるというのは大変ありがたいという声が多かった。しかし、指導者でも職業により謝金を受け取れる人とそうでない人がいることが分かった。受け取れない人についてはボランティアで参加していただいた。
- ・【活動中に怪我】…柔道の活動中において、怪我（骨折）が2件発生した。保護者は学校部活動ではないため連絡をどこにしてよいか分からないという事が起きた。教育委員会が保護者に直接連絡し、保険関係の手続きも全て行ったが、連絡体制の周知がさらに必要であった。
- ・【受益者負担】…部活動が地域移行するにあたり、保護者が金銭面での負担が増加するという認識はほとんどなく、実践研究において受益者負担を強いることは保護者から理解を得られることではなかった。大会参加については保護者が負担することに理解があるため、大会を開催し受益者負担とした。

4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

【成果】

- ①組織の構築（スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ、各連盟、教員等、部活動の地域移行の土台となる組織を作ることができた。）
- ②課題の抽出（各種目、事務局として成果と課題を抽出することができた。）

【課題】

- ①生徒が参加しやすい環境の整備（活動場所までの移動、緊急時や中止判断等の案内や連絡体制づくり、地域指導者との信頼関係）
- ②保護者への金銭面での理解（学校部活動と地域部活動の保険の補償額の相違、送迎等の負担）
- ③教員の働き方改革（部活動の教育的意義、平日指導と休日指導の違い、働き方改革につながっているのか）

4.2 地域移行における今後の課題と対応

【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】

令和3・4年度の実践研究において、地域移行の一つのモデルとなる体制について構築することが出来た。その体制を維持しつつ、今後は舞鶴市の地域移行について議論し、より良い方向性を検討していく必要がある。そのため令和5年度には、有識者を交えた舞鶴市地域部活動在り方検討会議（仮称）を設立し、令和6年度以降の地域移行について検討していく。まずは、舞鶴市の現状をしっかりと把握し、見えてくる課題について取り組んでいく。

部活動の地域移行

～休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究

舞鶴市教育委員会

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革 概要



部活動の意義と課題

- ✓ 部活動は、教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会や、多様な生徒が活躍できる場である。
- ✓ 一方、これまで部活動は教師による献身的な勤務の下で成り立ってきたが、休日を含め、長時間勤務の要因であることや、指導経験のない教師にとって多大な負担であるとともに、生徒にとっては望ましい指導を受けられない場合が生じる。
- ✓ 中教審答申や給特法の国会審議において「部活動を学校単位から地域単位の取組とする」旨が指摘されている。

持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革が必要

改革の方向性

- ◆ 部活動は必ずしも教師が担う必要のない業務であることを踏まえ、部活動改革の第一歩として、休日に教科指導を行わないことと同様に、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築
- ◆ 部活動の指導を希望する教師は、引き続き休日に指導を行うことができる仕組みを構築
- ◆ 生徒の活動機会を確保するため、休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境を整備

具体的な方策

I. 休日の部活動の段階的な地域移行（令和5年度以降、段階的に実施）

- 休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保
（育成・マッチングまでの民間人材の活用の仕組みの構築、兼職兼業の仕組みの活用）
- 保護者による費用負担、地方自治体による減免措置等と国による支援
- 拠点校（地域）における実践研究の推進とその成果の全国展開

II. 合理的で効率的な部活動の推進

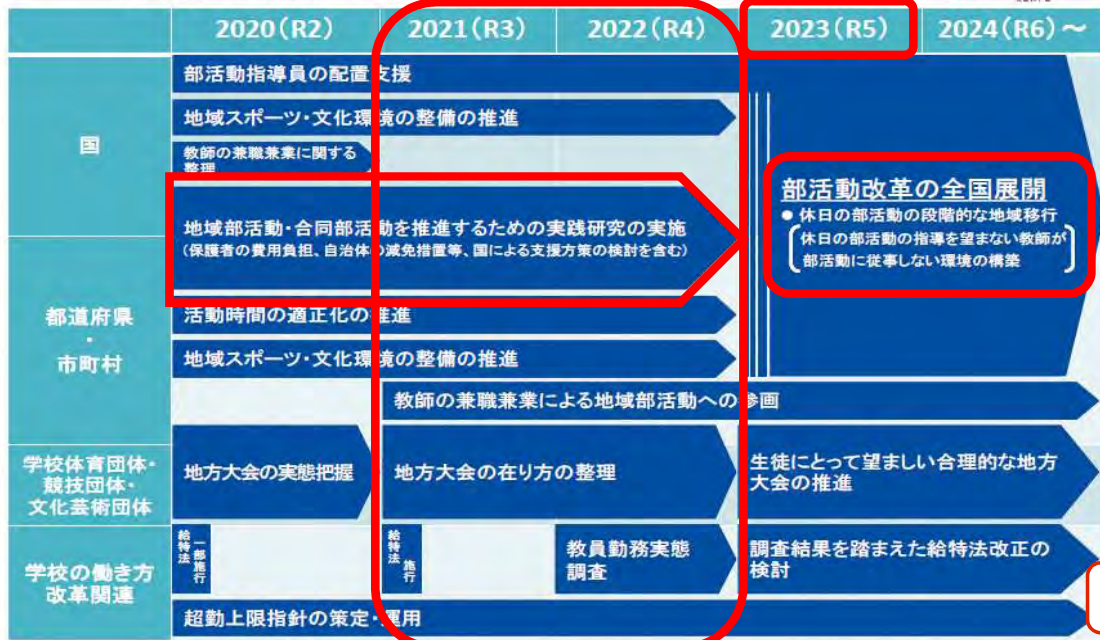
- 地域の実情を踏まえ、都市・過疎地域における他校との合同部活動の推進
- 地理的制約を越えて、生徒・指導者間のコミュニケーションが可能となるICT活用の推進
- 主に地方大会の在り方の整理（実態の把握、参加する大会の精選、大会参加資格の弾力化等）

※ 以上の取組は、主として中学校を対象とし、高等学校においても同様の考え方を基に取組を実施。
※ 私立学校は、以上に示した公立学校の取組を参考に、教師の負担軽減を考慮した適切な指導体制の構築に取り組むことが望ましい。

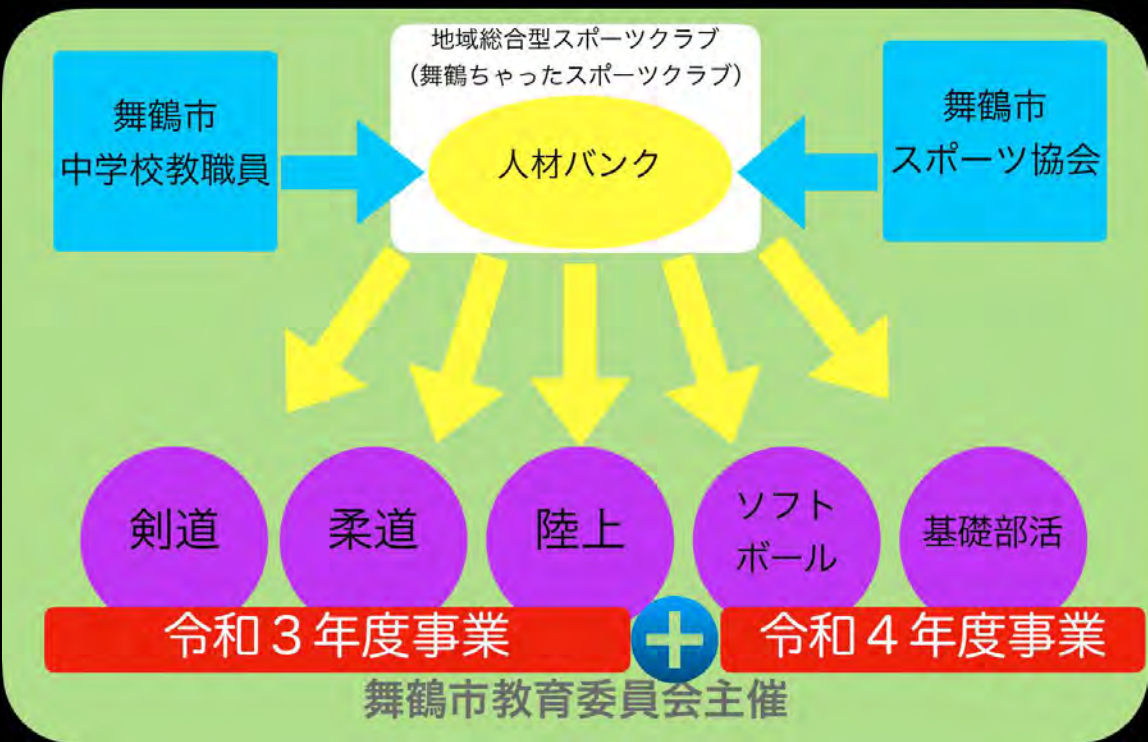
令和2年9月

地域運動部活動推進事業

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革のスケジュール



令和2年9月



舞鶴市の運動部活動地域移行(案)
 青葉中・白糸中・和田中・城南中・城北中・若浦中・加佐中
 ～舞鶴市中学校66部活動約1500人の行き先～

舞鶴市スポーツ協会所属
 の各連盟や協会への入会
 又は指導者派遣

舞鶴市スポーツ少年団へ
 の入会又は指導者派遣

舞鶴市にある府立高校や私
 立高校の部活動との連携

地域人材による
 新しい活動団体の設立

休日は自分の勉強や趣味
 家族と過ごす時間



市としての方向性を打ち出していく

舞鶴市の運動部活動地域移行(案)
 青葉中・白糸中・和田中・城南中・城北中・若浦中・加佐中
 ～舞鶴市中学校66部活動約1500人の行き先～

舞鶴市スポーツ協会所属
 の各連盟や協会への入会
 又は指導者派遣

舞鶴市スポーツ少年団へ
 の入会又は指導者派遣

舞鶴市にある府立高校や私
 立高校の部活動との連携

地域人材による
 新しい活動団体の設立

休日は自分の勉強や趣味
 家族と過ごす時間



令和5年度 検討会議の設置

令和3年度 実践研究として舞鶴市が取り組んできたこと

- 舞鶴市地域運動部活動合同会議の設立
- 運営団体（地域総合型スポーツクラブ）の確保と連携
- 柔道・剣道・陸上協会・連盟との協力体制作り
- 柔道・剣道・陸上地域部活動の実施とアンケート
- 市役所内（教育委員会とスポーツ振興課）の連携
- 市教委内での仕組み作り（謝金や保険等の支払い会計事務）
- 校長会との連携

令和4年度 舞鶴市が令和3年度に付け加えて取り組んだこと

- 舞鶴市地域運動部活動合同会議にスポーツ少年団会長、中学校体育連盟会長を付け加える。
- 合同会議実施回数の増加（昨年度2回から今年度5回）
- ソフトボールを追加し、協会との連携
- 総合型スポーツクラブ主体の「ゆる部活」と「トレーナー部活」の実施
- 人材バンク登録者への指導者研修会
- 今後、連盟や協会への説明会を開催する予定

令和3・4年度地域運動部活動推進事業
 剣道・柔道・陸上・ソフトボール・基礎部活

剣道専門部



柔道専門部



陸上専門部



ソフトボール専門部



基礎部活
「トレーナクリニック」



基礎部活
「ゆる部活」



4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
1 水	1 木	1 金	1 土	1 日	1 月	1 木	1 土	1 火	1 木	1 日
2 木	2 金	2 土	2 日	2 月	2 金	2 日	2 水	2 金	2 月	2 木
3 日	3 月	3 火	3 木	3 土	3 日	3 月	3 木	3 土	3 火	3 金
4 月	4 金	4 土	4 日	4 月	4 日	4 金	4 土	4 日	4 水	4 土
5 金	5 土	5 日	5 月	5 土	5 月	5 土	5 日	5 木	5 木	5 日
6 土	6 日	6 月	6 土	6 日	6 土	6 日	6 火	6 金	6 金	6 月
7 日	7 月	7 土	7 日	7 月	7 金	7 土	7 月	7 土	7 土	7 火
8 月	8 土	8 日	8 月	8 土	8 土	8 土	8 火	8 木	8 日	8 水
9 土	9 日	9 月	9 土	9 火	9 金	9 日	9 水	9 金	9 月	9 木
10 日	10 月	10 金	10 日	10 水	10 土	10 日	10 木	10 土	10 火	10 金 契約終了日
11 月	11 火	11 土	11 月	11 火	11 日	11 日	11 水	11 日	11 水	11 土
12 火	12 木	12 日	12 月	12 金	12 月	12 水	12 木	12 日	12 木	12 日
13 水	13 金	13 月	13 水	13 土	13 土	13 木	13 日	13 火	13 金	13 月
14 木	14 土	14 火	14 木	14 日	14 日	14 金	14 土	14 水	14 土	14 火
15 金	15 日	15 水	15 金	15 月	15 土	15 土	15 日	15 木	15 日	15 水
16 土	16 月	16 木	16 土	16 火	16 日	16 日	16 火	16 金	16 月	16 木
17 日	17 火 契約開始日	17 金	17 日	17 水	17 月	17 月	17 土	17 土	17 火	17 金
18 月	18 水	18 土	18 月	18 木	18 日	18 日	18 火	18 金	18 水	18 土
19 火	19 木	19 日	19 火	19 金	19 土	19 水	19 土	19 土	19 木	19 日
20 水	20 金	20 月	20 水	20 土	20 日	20 木	20 日	20 日	20 金	20 月
21 木	21 土	21 火	21 木	21 日	21 土	21 金	21 月	21 月	21 土	21 火
22 金	22 日	22 水	22 金	22 月	22 日	22 土	22 火	22 火	22 日	22 水
23 土	23 月	23 木	23 土	23 火	23 月	23 日	23 水	23 金	23 土	23 木
24 日	24 火	24 土	24 日	24 土	24 土	24 土	24 木	24 土	24 日	24 金
25 月	25 水	25 日	25 月	25 日	25 日	25 日	25 金	25 日	25 月	25 土
26 火	26 木	26 月	26 火	26 土	26 月	26 土	26 土	26 月	26 土	26 日
27 水	27 金	27 火	27 木	27 日	27 火	27 日	27 日	27 日	27 日	27 月
28 木	28 土	28 水	28 土	28 月	28 水	28 土	28 月	28 月	28 土	28 火
29 金	29 日	29 木	29 日	29 火	29 金	29 土	29 火	29 火	29 日	29 月
30 土	30 月	30 土	30 月	30 土	30 土	30 日	30 水	30 水	30 月	30 日
31 火	31 火	31 日	31 日	31 水	31 水	31 月	31 日	31 日	31 火	31 火

剣道専門部

実施回数：令和3年度は8回実施 令和4年度は18回実施

参加者：舞鶴市にある中学校剣道部員＋舞鶴市の小学生＋剣道未経験者

実施方法：舞鶴4中学校（青葉・白糸・城南・城北）の剣道部を一斉に集めて実施

実施場所：舞鶴文化公園体育館や東地区と西地区の小・中学校体育館（東西の参加場所を考慮）

参加方法：現地集合を基本としたが、中学校教員による引率での参加もある。

参加者数：1回の平均...中学生約25人 小学生約15人 未経験者約10人 地域の指導者約10人

生徒の声：「たくさんの先生に教えてもらえて嬉しい」 「他校の生徒と練習できるのが嬉しい」

保護者の声：「専門的に教えてもらえるのは有難い」 「練習場所までの送迎が大変」

教員の声：「本当に地域部活動に任せてしまっていていいのだろうか...。」

指導者の声：「剣道連盟や地域の指導者に助けられている」 「他市からの参加もあり盛り上がる」

」
「小学生や未経験者の参加は中学校部活動では出来なかった。普及につながっている」

剣道専門部



4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		
1	金					1	金	1	月	1	木	1	土	1	火	1	日	1	水	1	水	
2	土					2	土	2	火	2	金	2	日	2	水	2	木	2	金	2	木	
3	日					3	日	3	水	3	土	3	月	3	木	3	火	3	金	3	金	
4	月					4	月	4	木	4	日	4	火	4	金	4	水	4	土	4	土	
5	火					5	火	5	金	5	月	5	水	5	土	5	木	5	日	5	日	
6	水					6	水	6	土	6	火	6	木	6	日	6	金	6	月	6	月	
7	木					7	木	7	日	7	水	7	金	7	月	7	土	7	火	7	火	
8	金					8	金	8	月	8	木	8	土	8	火	8	日	8	水	8	水	
9	土	9	月	9	木	9	土	9	火	9	金	9	日	9	水	9	金	9	月	9	木	
10	日	10	火	10	金	10	日	10	水	10	土	10	月	10	木	10	日	10	金	10	金	
11	月	11	水	11	土	11	月	11	木	11	日	11	火	11	金	11	水	11	土	11	土	
12	火	12	木	12	日	12	火	12	金	12	月	12	水	12	土	12	木	12	日	12	日	
13	水	13	金	13	月	13	水	13	土	13	火	13	木	13	日	13	金	13	月	13	月	
14	木	14	土	14	火	14	木	14	日	14	水	14	金	14	月	14	土	14	火	14	火	
15	金	15	日	15	水	15	金	15	月	15	木	15	土	15	火	15	日	15	水	15	水	
16	土	16	月	16	木	16	土	16	火	16	金	16	日	16	水	16	土	16	日	16	日	
17	日	17	火	契約開始日	17	金	17	日	17	水	17	土	17	月	17	木	17	金	17	月	17	金
18	月	18	水	18	土	18	月	18	木	18	日	18	火	18	金	18	日	18	水	18	土	
19	火	19	木	19	日	19	火	19	金	19	月	19	水	19	土	19	月	19	木	19	日	
20	水	20	金	20	月	20	水	20	土	20	火	20	木	20	日	20	火	20	金	20	月	
21	木	21	土	21	火	21	木	21	日	21	水	21	金	21	月	21	水	21	土	21	火	
22	金	22	日	22	水	22	金	22	月	22	木	22	土	22	火	22	木	22	日	22	水	
23	土	23	月	23	木	23	土	23	火	23	金	23	日	23	水	23	金	23	月	23	木	
24	日	24	火	24	金	24	日	24	水	24	土	24	月	24	木	24	土	24	火	24	金	
25	月	25	水	25	土	25	月	25	木	25	日	25	火	25	金	25	日	25	水	25	土	
26	火	26	木	26	日	26	火	26	金	26	月	26	水	26	土	26	月	26	木	26	日	
27	水	27	金	27	月	27	水	27	土	27	火	27	木	27	日	27	火	27	金	27	月	
28	木	28	土	28	火	28	木	28	日	28	水	28	金	28	月	28	水	28	土	28	火	
29	金	29	日	29	水	29	金	29	月	29	木	29	土	29	火	29	木	29	日	29	水	
30	土	30	月	30	木	30	土	30	火	30	金	30	日	30	水	30	金	30	月	30	火	
		31	火			31	日	31	水			31	月			31	土	31	火			

陸上専門部



陸上第2回

陸上第3回

陸上第1回

陸上専門部



【令和4年度】
 実施回数：3回
 参加者：舞鶴市にある中学校陸上部員
 実施方法：舞鶴6中学校（青葉・白糸・）の陸上部を一斉に集めて実施
 実施場所：白糸中学校
 参加方法：現地集合
 参加者数：中学生約28名
 成果：○実際に地域移行した場合のイメージが少し湧いた
 課題：●指導者は中学校顧問が大半
●種目分けした場合には指導者が足りない
●活動場所の確保（悪天候時の場所の確保）
 今後の形：中学校顧問を中心とした指導体制に協会が加わる形が現実的
 優先的な施設の確保と金銭面の支援を希望

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
1	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
2	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
3	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
4	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
5	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
6	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
7	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
8	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
9	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
10	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
11	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
12	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
13	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
14	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
15	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
16	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
17	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
18	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
19	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
20	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
21	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
22	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
23	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
24	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
25	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
26	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
27	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
28	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
29	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
30	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
31	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水

ソフトボール専門部

ソフトボール協会への説明会

ソフト第1回

顧問と協会の打ち合わせ

ソフト第1回雨天中止

ソフト第2回雨天中止

ソフトボール専門部

【令和4年度 新規事業】

実施回数：1回

参加者：舞鶴市にある中学校ソフトボール部員

実施方法：舞鶴4中学校（白糸・和田・城南・城北）の部員を一斉に集めて実施

実施場所：城北中学校

参加方法：現地集合

参加者：中学生24名＋小学生1名

生徒の声：「楽しかった。次も参加したい」

成果：○部員減少の中、大人数で活動できた。

○顧問と協会が連携し、協議を重ね体制を作ることができた。

課題：●2度の雨天中止。連絡体制の確立

●個人持ちではない用具（ヘルメットやプロテクター等）の確保



5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1F
1 日								1 木		1 土		1 火		1 木		1 日
2 月								2 金		2 日		2 水		2 金		2 月
3 火								3 土		3 月		3 木		3 土		3 火
4 水								4 日		4 火		4 金		4 日		4 水
5 木								5 月		5 水		5 土		5 月		5 木
6 金								6 火		6 木		6 日		6 火		6 金
7 土								7 水		7 金		7 月		7 水		7 土
8 日								8 木		8 土		8 火		8 木		8 日
9 月								9 金		9 日		9 水		9 金		9 月
10 火								10 土		10 月		10 木		10 土		10 火
11 水								11 日		11 火		11 金		11 日		11 水
12 木		12 日		12 火		12 金		12 月		12 水		12 土		12 月		12 木
13 金		13 月		13 水		13 土		13 火		13 木		13 日		13 火		13 金
14 土		14 火		14 木		14 日		14 水		14 金		14 月		14 水		14 土
15 日		15 水		15 金		15 月		15 木		15 土		15 火		15 木		15 日
16 月		16 木		16 土		16 火		16 金		16 日		16 水		16 金		16 月
17 火	契約開始日	17 金		17 日		17 水		17 土		17 木		17 火		17 土		17 火
18 水		18 土		18 月		18 木		18 日		18 金		18 水		18 日		18 水
19 木		19 日		19 火		19 金		19 月		19 土		19 木		19 月		19 木
20 金		20 月		20 水		20 土		20 火		20 日		20 金		20 日		20 金
21 土		21 火		21 木		21 日		21 水		21 土		21 月		21 土		21 土
22 日		22 水		22 金		22 月		22 木		22 火		22 日		22 日		22 日
23 月		23 木		23 土		23 火		23 金		23 月		23 水		23 月		23 月
24 火		24 金		24 日		24 水		24 土		24 火		24 木		24 火		24 火
25 水		25 土		25 月		25 木		25 日		25 火		25 金		25 水		25 水
26 木		26 日		26 火		26 金		26 月		26 水		26 土		26 木		26 木
27 金		27 月		27 水		27 土		27 火		27 日		27 月		27 金		27 金
28 土		28 火		28 木		28 日		28 水		28 土		28 火		28 土		28 土
29 日		29 水		29 金		29 月		29 木		29 火		29 日		29 日		29 日
30 月		30 木		30 土		30 火		30 金		30 月		30 水		30 月		30 月
31 火				31 日		31 水				31 火				31 土		31 火

基礎部活
「トレーナクリニック」

ゆる部活
白糸中

ゆる部活
城南中

トレーナー
部活
剣道

ゆる部活
白糸中

ゆる部活
城南中

トレーナー
部活
柔道

指導者
講習会

基礎部活



【令和4年度 トレーナークリニック 新規事業】

○体の使い方を専門的に学ぶ機会として、トレーナーによる指導を行う

参加者 : 地域運動部活動の柔道部員 (25名) に1回、剣道部員 (28名) に1回

実施方法 : 総合型スポーツクラブの指導者が柔道部員・剣道部員に指導

実施場所 : 柔道は城南中学校武道場 剣道は文化公園体育館剣道場

参加方法 : 現地集合

成果 : ○各競技の技術指導とは別に、基礎的な体作りにつながると好評。

○専門的な指導者による指導は生徒も教師も良い機会となった。

課題 : ●日程調整が大変

今後 : 2ヶ月に1度のペースで開催したい。

メンタルトレーニングにも取り組みたい



基礎部活



【令和4年度 ゆる部活 新規事業】

○体を動かすことの楽しさを知ることが目的とした部活動

参加者：城南中学校と白糸中学校に呼びかけて集まった生徒

城南中で2回実施（28名） 白糸中で2回実施（11名）

実施方法：総合型スポーツクラブの指導者が指導

実施場所：城南中学校体育館と白糸中学校体育館

成果：○普段運動をしない子や学校に行きにくい子も参加できた。

○途中で帰る子、参加しない子、怖がる子もいたが指導者の理解があり、強制的・威圧的な指導なく取り組めた。

○「久しぶりに体を動かし、他の人と話せた」との感想

課題：○公募だけでは人が集まらない。中学校の理解・協力が必須。

基礎部活



指導者講習会

【指導者講習会】

○柔道の怪我を受け、指導者への講習会が必要と判断

実施日：令和4年12月4日（日）12時～15時

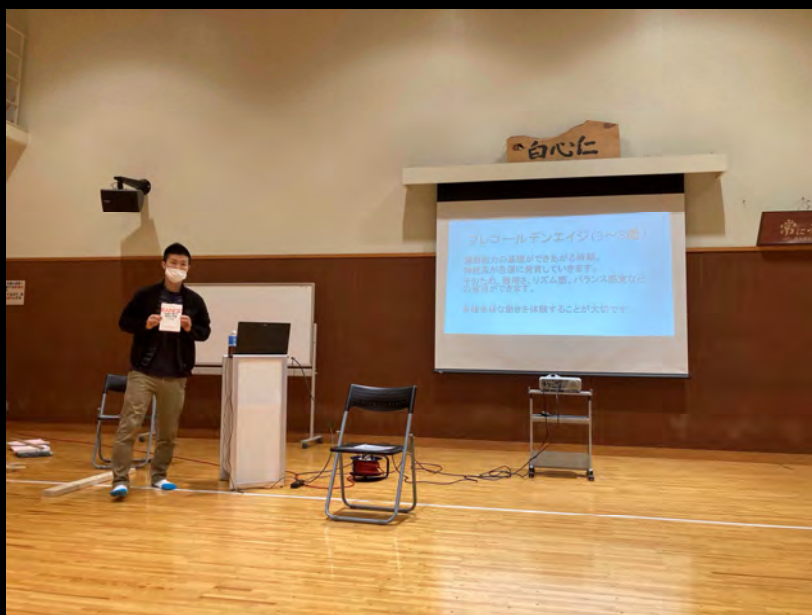
参加者：舞鶴ちゃったスポーツクラブに登録されている指導者対象
当日参加者10名

参加場所：白糸中学校剣道場

内 容：怪我の予防について理論と実践

成 果：○怪我につながるケースや、怪我の対応など知識が増えた。
○練習前、練習後のストレッチの実践 競技力向上も

課 題：●講師の選定や受講者への呼びかけ。
●日程調整（講師・受講者・場所）



4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月	
1	金	1	日	1	水	1	金	1	月	1	木	1	土	1	火	1	木				
2	土	2	月	2	木	2	土	2	火	2	金	2	日	2	水	2	金				
3	日	3	火	3	金	3	日	3	水	3	土	3	月	3	木	3	土				
4	月	4	水	4	土	4	月	4	日	4	火	4	金	4	日	4	日				
5	火	5	木	5	日	5	火	5	火	5	水	5	土	5	土	5	月				
6	水	6	金	6	月	6	水	6	水	6	木	6	日	6	日	6	火				
7	木	7	土	7	火	7	木	7	木	7	金	7	月	7	月	7	水				
8	金	8	日	8	水	8	金	8	金	8	土	8	火	8	火	8	木				
9	土	9	月	9	木	9	土	9	土	9	日	9	水	9	水	9	金				
10	日	10	火	10	金	10	日	10	日	10	月	10	木	10	木	10	土				
11		11	水	11	土	11	月	11	月	11	火	11	金	11	金	11	日				
12		12	木	12	日	12	火	12	火	12	水	12	土	12	土	12	月				
13		13	金	13	月	13	水	13	土	13	日	13	月	13	日	13	火				
14		14	土	14	火	14	木	14	日	14	水	14	金	14	月	14	水				
15		15	日	15	水	15	金	15	月	15	木	15	土	15	火	15	木				
16		16	月	16	木	16	土	16	火	16	金	16	日	16	水	16	金				
17		17	火	17	金	17	日	17	水	17	土	17	月	17	木	17	土				
18		18	水	18	土	18	月	18	木	18	日	18	火	18	金	18	日				
19		19	木	19	日	19	火	19	金	19	月	19	水	19	土	19	月				
20		20	金	20	月	20	水	20	土	20	火	20	土	20	日	20	火				
21		21	土	21	火	21	木	21	日	21	水	21	金	21	月	21	水				
22		22	日	22	水	22	金	22	月	22	木	22	土	22	火	22	木				
23		23	月	23	木	23	土	23	火	23	金	23	日	23	月	23	火				
24		24	火	24	金	24	日	24	水	24	土	24	月	24	火	24	水				
25		25	水	25	土	25	月	25	木	25	日	25	火	25	金	25	土				
26		26	木	26	日	26	火	26	金	26	月	26	水	26	土	26	日				
27		27	金	27	月	27	水	27	土	27	火	27	金	27	日	27	月				
28		28	土	28	火	28	木	28	日	28	水	28	土	28	火	28	土				
29		29	日	29	水	29	金	29	月	29	木	29	土	29	火	29	日				
30		30	月	30	木	30	土	30	火	30	金	30	日	30	水	30	金				
31		31	火	31	日	31	水	31	木	31	月	31	火	31	土	31	火				

- 舞鶴市スポーツ協会 会長
- 舞鶴市スポーツ少年団 会長
- 舞鶴ちゃったスポーツクラブ 会長
- 舞鶴市中学校校長会長
- 舞鶴市中学校体育連盟会長
- 剣道専門部専門委員長
- 柔道専門部専門委員長
- 陸上専門部専門委員長
- ソフトボール専門部専門委員長
- 舞鶴市スポーツ振興課課長
- 舞鶴市教育委員会指導理事
- 舞鶴市教育委員会学校教育課長
- 舞鶴市教育委員会指導主事
- 舞鶴市教育委員会事務局

契約開始

第3回舞鶴市地域運動部活動合同会議

第1回舞鶴市地域運動部活動合同会議

第2回舞鶴市地域運動部活動合同会議

第4回舞鶴市地域運動部活動合同会議

第5回舞鶴市地域運動部活動合同会議

【今年度新たに付け加わった実践研究での条件】

- ・ 経費の全てを国費で賄うことは認められない
- ・ 会費、保険料、会場使用料などを受益者負担
- ・ 自治体負担、企業からの寄付を募るなどする

① 保険料の受益者負担



学校部活動では必要のないお金
「実践研究に協力する上に、補償額の低い保険でお金まで取れない」

【今年度新たに付け加わった実践研究での条件】

- ・経費の全てを国費で賄うことは認められない
- ・会費、保険料、会場使用料などを受益者負担
- ・自治体負担、企業からの寄付を募るなどする



②練習会費・施設費の受益者負担



学校部活動では必要のないお金
「1回の練習に費用が発生することへの抵抗感。施設は学校で十分」

【今年度新たに付け加わった実践研究での条件】

- ・経費の全てを国費で賄うことは認められない
- ・会費、保険料、会場使用料などを受益者負担
- ・自治体負担、企業からの寄付を募るなどする



③自治体負担、企業寄付



・市費負担は第一優先の考えになりにくい（国負担や受益者負担が優先）
・企業寄付は一過性になりやすく、持続可能な制度設計になりにくい。

【今年度新たに付け加わった実践研究での条件】

- ・経費の全てを国費で賄うことは認められない
- ・会費、保険料、会場使用料などを受益者負担
- ・自治体負担、企業からの寄付を募るなどする

④大会の開催



今の情勢では、大会の参加費程度でなければ保護者負担は難しい。
参加費1人100円

成果



「組織」

- ・部活動の地域移行の土台となる組織を作ることができた
(スポーツ協会、総合型スポーツクラブ、各連盟、教員など)



課題の抽出

- ・各種目、事務局として成果と課題を抽出することができた。

課題

①

「生徒」
参加しやすい環境

- ・ 活動場所までの移動
- ・ 緊急時や中止判断等の案内や連絡体制作り
- ・ 地域指導者との信頼関係

②

「保護者」
金銭面での理解

- ・ 学校部活と地域部活の保険（補償額）の違い
- ・ 指導者や活動団体に支払う金銭の感覚
- ・ 送迎等の負担

③

「教員」
働き方改革

- ・ 部活動の教育的意義
- ・ 平日の指導と休日の指導の違い
- ・ 働き方改革につながるのか

ご清聴ありがとうございました

舞鶴市教育委員会